北海道バプテスト連合ニュース
全道にキリストの光を！

2024年3月発行 No.127
発行者　福田雅祥　　　編集者　澤田貢希
発行所　041-0806 函館市美原2丁目41番8号
函館美原キリスト教会内
http://hokkaidobap.jimdo.com　pw: jbc1947

【 巻頭言 】 ～ 新しい歩みの始まり ～

おくむらとしお
奥村敏夫
（釧路キリスト教会牧師
／4 月より佐賀基督教会牧師
・大川伝道所牧師）

間もなく新しい年度を迎えます。皆さんの教会ではどんな一年をお迎えになられるでしょうか？

実はこのニュースが届くころには、私たち夫婦は既に佐賀の地に赴任しているかもしれません。と言いますのは、我々にとっても突然でしたが、昨年の晩秋に上記教会から突然の招聘状が届き、危機を訴えられました。てっきり釧路の地が働きの最終任地、と思っていた中での”事件”にうろたえました。祈って、不安と緊張のうちにこの招聘をお受けすることになりました。今までの釧路教会では順調に働かせていただき不満などありませんが、危機がある、と聞いて何かが動き出しました。そういえば今度の佐賀で6か所目の教会ですが、この52年間、そこに危機がなければ引き受けなかった教会ばかりです。順調な教会にはいつもお断りしていました。

思えばこの北海道に来てから約20年が経ち、牧会生活の中で最長の働き場になりました。その分だけ思い入れも強く、牧師でなかったら決して動かなかったと思います。ましてや75歳！こんな後期高齢者に何をしろと？　とも思いましたが、結局「主の用なり」と思い返し出掛けることになりました。

福岡からかつて津軽海峡を渡った時には北海道地方連合には6か所の無牧師教会がありました。今は連合の働きも充実し、チームワークのいい連合のよき交わりがあります。釧路教会の今後が気がかりでしたが、かつて福田会長と共に釧路の若い集団のリーダーでもあった舛田栄一氏が東バプの13年生＝最終学年で、今春卒業予定。1月末の教会総会で招聘したところ喜んで受諾していただきました。（主の山に備えあり！） もう後ろ髪を引かれることもなく、むしろバプテスマのヨハネの心境で後継にお任せ出来て安心しました。

正月明けに開かれた「牧師家族退修会」に出席して、もう大きくなった子どもたちににぎやかに囲まれてお祈り頂き、なんとカニまでお餞別にいただきました！　同労者たちと一緒にいると、この20年のことが思い出され、感謝と共に、新たな旅路への励ましを頂いた思いです。改めてこの紙面をお借りして皆様に心からありがとう！と申し上げたいと思います。遠く離れましても皆さんのそれぞれの教会を覚えてお祈りさせていただきます。

協力伝道TOPIC　教会間交流・協力報告（札幌～小樽）
「やっぱり礼拝での交流はいいね！」

報告者：石橋大輔（札幌教会）

小樽教会と札幌教会とは、以前から礼拝や研修会を通しての交流がなされてきました。小樽教会の無牧師時代には札幌教会の牧師が説教者として派遣され、また札幌教会の研修会に無牧師時代を経験した小樽教会の教会員が講師として派遣されるといった感じです。ただ近年は、小樽教会の雪かき応援を目的とした協力・交流が中心に行われてきていたため、改めて「礼拝での交流をまた深めたい」という思いと祈りが両者で共有され、今年度の交流プログラム実施に至りました。

7月16日には、札幌教会の礼拝に小樽教会の熊野愛さんが証し者として、エイカーズ愛牧師が説教者として派遣され、小樽教会の礼拝には札幌教会の石橋大輔牧師が派遣されました。7月30日には、小樽教会の礼拝に札幌教会の山口益子さんが証し者として、教会員バンドが音楽奉仕者として、西本詩生牧師が説教者として派遣されました。2日間に分けて、説教者だけでなく、両教会の教会員が証し者・讃美者としてそれぞれの礼拝で奉仕することで、教会同士の交流が深められ、感謝でした。

協力伝道TOPIC　教会間交流・協力報告（旭川～旭川東光）
「合同記念礼拝」

報告者：田森茂基（旭川教会）

2023 年 10 月1日に、旭川バプテスト教会の会堂にて「旭川-東光　合同記念礼拝」を開催し、出席した 36 名の兄弟姉妹と共に、1955 年 10 月 2 日に教会組織した「旭川バプテスト教会」が創立から68年を迎えたことと、旭川バプテスト教会の伝道所として1983年7月 10 日に開所した「旭川東光キリスト教会」の 40 年の歩みを共に喜び、主への感謝をささげました。その礼拝の中では、特別プログラムとして「旭川創立＆東光伝道40年記念式」を行い、各教会の会員の自宅に眠っていた写真を用いて作成したスライドショー『旭川における「主の物語」に加えられた人々』を分かち合いました。

礼拝後には、簡単な茶話会を開き、記念式の際に上映されたスライドショーを見ながら、思い出話に花を咲かせつつ、新たに加えられた兄弟姉妹に歴史が受け継がれました。なお、茶話会での茶菓、及び、出席者への記念品（お饅頭）の費用等に、連合からいただいた「教会間交流・協力」支援費を用いさせていただきました。連合からの支援と祈りに感謝します。

協力伝道TOPIC 教会間交流・協力報告（苫小牧～室蘭～函館～函館美原）「教会間協力による特別伝道集会」

報告者：原田恵雨（苫小牧教会）

2023 年 11 月 11 日(土)、12 日(日)に苫小牧教会で特別伝道集会を開催しました。

11 日はファミリーコンサートとして、賛美中心の集会とし、宣教も含めました。12 日は特別礼拝として、普段の礼拝を特別版にした集会としました。これは函館美原教会、函館教会、室蘭教会との合同の集会であり、昨年度に続いて 2 年目の試みとなります。

この集会の開催において、連合より支援金をいただきましたので、この場をお借りして感謝いたします。宣教は室蘭教会の吉田牧師にしていただきました。特別賛美を福田美代姉（函館美原）と本多依子姉（函館）、森洋子姉（函館美原）、本多啓示牧師（函館）のグループにしていただきました。また、ファミリーコンサートにおいては、留学生を中心とした室蘭教会の有志メンバーにも特別賛美をしていただきました。私達のような小さな教会が特別伝道集会を開けることについて、他教会および連合の協力と神様の御恵みがあったことに感謝です。

この集会のために、チラシを約 10000 枚作成し、教会周辺地域に配布しました。このチラシを見て、他派教会の方も来場されました。

事後アンケートの結果、ほとんどの方よりどのプログラムも満足されたとの回答が得られました。

また、自由記述欄に札幌にもチラシがほしいという要望もありました。たしかに、今回は対象として地域の方のみしか考えていなかったのですが、他地域に、苫小牧に知人のいる方もいる可能性も考えるともう少し宣伝の方法はあったかなと思いました。

協力伝道TOPIC 教会間交流・協力報告（函館～函館美原）
「教会間協力によるファミリーコンサート」

報告者：福田雅祥（函館美原教会）

２月２３日（金）午後、函館美原キリスト教会において「ファミリーコンサート」を開催しました。大勢の方々が集まってくださり、その中には初来会の方も数名おられて、恵まれた集会になりました。

当教会の福田美代姉（ボーカル）と森洋子姉（ピアノ）、そして、函館教会の本多依子姉（ボーカル）と本多啓示牧師（ベース・音響）が、耳馴染みのある賛美歌を中心にした素晴らしいプログラムを作って奉仕してくださいました。また、函館教会から他に5～6名の方々が駆けつけてくださり、ふたつの教会が協力し合ってひとつのことを成し遂げることの豊かさを感じるコンサートになりました。

この4名によるコンサートは、実はすでに苫小牧教会で2回行っています。ですから、今回が3回目になります。回を重ねる度にレパートリーも増えてきました。これからも様々場面で主のために用いられるならば幸いに思います。

今回のコンサートのために、連合の教会間交流・協力支援制度を活用させていただきました。心から感謝申し上げます。

連合活動TOPIC 2023 年度連合教役者家族退修会 報告

報告者：本多啓示（函館教会／教役者会幹事長）

2023 年度連合教役者家族退修会が、2024 年 1 月 9 日～11 日（火～木 2 泊 3 日）の日程で開催。物価高騰により予算的に宿泊施設選びに苦戦する中で、候補として浮上した札幌市南区真駒内の「保養センター駒岡」が会場として決まりました。テカテカ、ツルツルに凍結した道路状況と一面雪景色の中、道内 7 教会から、29 名の参加者（※1 名部分参加）が無事現地に集合。楽しく、美味しく、かつ親しい交わりとリフレッシュの時を過ごすことが出来ました。

開会礼拝（説教者 小樽教会 エイカーズ愛牧師 題「レッテルをはがされる方」、聖書箇所:ヨハネによる福音書 9 章 1-12 節 新共同訳、讃美歌:こどもさんびか前編/キリストの平和 ※参加者を交えてのスキット＆みんなで手話をしながら賛美。※本多依子さん Kb、派遣礼拝（説教者 帯広教会 川内裕子牧師 題「彼はナザレの人と呼ばれる」、聖書個所:マタイによる福音書 2 章 19-23 節 新共同訳、讃美歌:207 緑も深き ※手書きのイラストを使ってのメッセージ。※奏楽：本多依子さん Kb,祐基さん Vn のそれぞれのご奉仕に感謝。祈りと御言葉と賛美を共に分かち合う恵みのもとに、新たな力を頂きました。

また、子どもたちの成長を改めて実感。2日目夕食後恒例のビンゴ大会後には、3 月一杯を持って釧路教会を辞し、新たに佐賀教会での牧会を控えておられる奥村敏夫牧師とお連れ合いの妙子さんの歓送会も行われ、同師と子どもたち一人ひとりとのハグと記念撮影が行われました。連合諸教会の主にある絆と、皆様のお祈り、ご支援に心から感謝。主に栄光をお帰し致します。

連合活動TOPIC　2023 年度道南ブロック牧師・連れ合いが牧師の会（道南5）② 報告

報告者 : 本多啓示（函館教会／道南５担当幹事）

2024 年 2 月 25 日（日）～26 日（月）の日程で、2023 年度道南ブロック牧師・連れ合いが牧師の会②を開催（於. 函館キリスト教会 ※費用はメンバーで折半）。室蘭教会1名、函館美原教会2名、函館教会4名、合計7名が参加。

25 日（日／第1日目）：19:00 集合。夕食（ホットプレートでモダン焼き＆福田牧師の特製モツ煮）を食べながら、交わり（兼. 近況報告、２日目内容、スケジュール等の確認・調整等…）。室蘭教会吉田牧師は教育館に宿泊。

26 日（月／第2日目）：各自毎の朝食後、発題の時間を持つ（発題テーマ『重症心身障害児（者）のバプテスマについて』担当者：福田雅祥牧師）。質疑応答、祈り課題等の分かち合い後。記念撮影～会場後片付け後、市内の「元祖小いけのカレー」にて昼食。食後、教会に戻ってアフタヌーンコーヒータイム。次回日程を決め、15:30 に解散。

主にある親睦と交流、学び、リフレッシュの時を共に過ごすことが出来ました。充実した２日間が与えられた恵みに感謝。皆様のお祈りに心から感謝し、主に栄光をお帰し致します。

連合活動TOPIC　北海道バプテスト連合青少年の集い「春修ソングつくっちゃおう！」報告

報告者：澤田貢希（札幌教会／HYP 委員）

2024 年 2 月 12 日(月)に室蘭バプテスト教会を会場として、3 月に行われる北海道バプテスト連合青少年春の修養会 2023 のテーマソングを作曲する集いが開かれました。参加者は 8 名で、函館キリスト教会の本多先生の作曲をもとに、参加者一人一人によってイメージされていった言葉が繋ぎ合わされ、歌詞となり、一つの曲を完成させることができました。右がその歌詞の一部となります。葛藤や不安がありながらも、イエス様を見上げ、委ねていくことを心に留めておきたいと思わされる一曲です。2024 年 3 月 26 日～28 日に行われる春の修養会で、参加者と共に口ずさむことを楽しみにしつつ、春の修養会開催に向けて、祈りをもって備えていきたいです。

※タイトルは春の修養会の参加者と決定。

～

やさしい光がつつむ　私の心照らされ
十字架のイエスさまを見つめて
ひとりじゃない　共に歩いて行こう

にぎりしめているわたしを
ひらいてありのままでゆだねよう
にぎりしめているわたしを
イエスさまのためにささげよう

～

北海道バプテスト連合 2024 年度定期総会公告

連合規約第 11 条２に基づき連合定期総会を招集します。　会長：福田雅祥（函館美原）

日　　時	2024 年４月 29 日（月）　10:30～15:30 開会礼拝 10:30～、議事（昼食を含む）11:00～、派遣礼拝 15:00～ ※9:30～10:20 を各会の集まりに利用することが可能。
会　　場	札幌バプテスト教会（札幌市中央区南 22 条西 14 丁目 1-28）
総会牧師	佐々木俊一牧師（オープン・ドア・チャペル）
総会役員	議長：江縁久子（釧路）　　副議長：西本詩生（札幌）
代 議 員	各教会３名以内（規約第 12 条）
旅費補助	代議員、総会役員、連合役員の旅費を補助します。宿泊費補助の対象は、函館、函館美原、釧路、帯広教会です。 ※財政難の折なるべく車に乗り合わせてご参加くださいますようお願い致します。
議　　案	①2023 年度活動報告、②2023 年度決算・監査報告、③2024 年度活動計画案、④2024 年度予算案、⑤旅費規程改定、⑥次期定期総会日時・会場、⑦次期連合役員選任、⑧次期総会役員選任、⑨その他

【連合への諸送金のご案内】　※取扱いはすべて「ゆうちょ銀行」となっています。

◎ **協力伝道献金**　＜名義・記号番号＞　北海道バプテスト連合　１９０００—１７９２２９１１
◎ **災害対策募金**　＜名義・記号番号＞　北海道連合災害対策委員会　１９０００—２１３１６６５１
◎ **教役者会献金**　＜名義・記号番号＞　北海道バプテスト連合教役者会　１９０６０—５１７２２７８１